

おはようございます。

夏休みが終わって、今日みんなが元気に登校してくる姿を見て、とても嬉しく思いました。みんなが事故などにあわず、真っ黒に日焼けした笑顔を見せてくれてほっとしました。休み中、学校は静まりかえっていましたが、今日からまた活気に満ちたいつもの生活が戻ってきます。この頃ようやく涼しくなってきましたね、ふと気が付くと、セミの声がほとんど聞こえなくなっています。夜には秋の虫が鳴き競っていますね。やがて冬になるとそれらの虫たちも姿を消して、鳥たちの声がにぎやかに聞こえます。そして春になり、カエルの声が池や田んぼから響くようになります。このように私たちの周りにはいろんな生き物の鳴き声が季節ごとに聞こえています。でもセミも秋の虫たちも冬には死んでしまいます。私たち人間は何十回も夏を迎えることができますが、多くの生き物がたった一度の季節を生きているのです。

校長先生は小学校から、中学、高校、大学と夏休みを過ごし、学校に勤めるようになってからも何十回も夏休みを過ごしてきました。でも今年の夏休みは特別な夏休みでした。先生は中学校の理科の先生でした。自然や生き物のことが好きで理科の先生になったのですが、一度どうしても見てみたい自然現象がありました、それは皆既日食です。月と太陽が重なる不思議な現象です。今年の夏休みにアメリカで皆既日食がありましたそれを観察に行ってきました。そして天気にも恵まれ、とうとう念願の皆既日食を見ることができました。真っ暗になった空に黒い太陽と、その周りに輝く美しいコロナを見て本当に感動しました。ではその時の写真と、動画をみんなにも見てもらいましょう。

皆既日食は世界中では2年に1回どこかで起こっています。しかし、それが自分の住む地域で見られるのは340年に一回だそうです。本当に見たい、体験したいと思ったら、待っていてはダメなんですね。自分からそれを求めて行動しなければ見ることはできません。これはほかのことにも言えると思います。みなさんも自分の夢や目標を実現するために自ら行動していくことが大切です。2学期も目標を持ってしっかり頑張っていきましょう。



2017, 9, 1 始業式にて